

医学部**■医学科****【養成する人物像】**

医学科は、「良識のある社会人として行動する力」、「コミュニケーション力」、「医学に関する幅広い知識と技能」、「地域の医療へ貢献する力」及び「自ら真理の探求に取り組む力」を有する人材を養成します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】**知識・技能**

1. 医学知識を修得するために必要となる幅広い分野の基礎知識として、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識があり理解している。

思考力・判断力・表現力

1. 学習及び生活の中で自ら積極的に問題点をみつけ、解決方法を探求することができる。
2. 科学的根拠に基づいて問題を分析的、批判的に考え、解決することができる。
3. 自分の考えを口頭あるいは図や文章を用いて筋道を立てて明確に表現することができる。

主体性・多様性・協働性

1. 自発的で継続的な自己学習の習慣を身につけている。
2. 協調性や他者への深い思いやりがあり、周囲と良好なコミュニケーションをとることができる。
3. 多様な背景を持つ他者の能力を認め、同じ目標に向かって協働することができる。

関心・意欲

1. 生命科学や医学・医療に対する強い関心・意欲を持っている。
2. 高知県内の地域医療に従事する強い意欲がある。(一般選抜[地域枠]、学校推薦型選抜Ⅱ、総合型選抜Ⅰ)
3. 社会的な善悪に対して正しく判断し、自分の発言や行動に責任を持つことができる。

【入学選抜方法と評価する能力】

一般選抜（前期日程）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	科目試験 (数・理)	○	◎		
	科目試験 (外国語)	◎	○		
	面接		○	○	◎

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す選抜）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト		◎	○		
個別試験等	面接		◎	○	◎

総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない選抜）

選抜方法		評価する能力			
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
第1次選抜	総合問題(小論文を含む)	◎	◎		
	英語外部試験	◎	◎		
第2次選抜	態度・習慣領域 評価	○	◎	◎	◎
	面接		◎	○	◎

国際バカロレア選抜(大学入学共通テストを課さない選抜)

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
書類審査	◎	◎	○	◎
面接		◎	○	◎

■看護学科

【養成する人物像】

看護学科は、「教養と専門知識を基盤に、人々のところに寄り添う感性と高い社会正義感を持って、看護実践能力を用いて、人々の健康と生活を支えることができる看護専門職」を養成します。同時に、「社会に生じてくるさまざまな問題を看護の視点でとらえ、多職種と協働しながら課題の解決に向かうよう自ら学びつづけ、よりよい医療・看護を実現できる革新力を備えた人材」の養成を目指します。

【求める学生像及び高等学校段階で修得すべき内容・水準】

知識・技能

- 看護学・医学を学ぶために必要な高等学校卒業程度の知識があり、特に理科・社会・英語の基礎学力を有する。

思考力・判断力・表現力

- 筋道を立てて物事を考え、的確な判断ができる。
- 自分の考えや思いをわかりやすく伝えることができる。

主体性・多様性・協働性

- 他の人と協働しながら、主体的に取り組むことができる。
- 自ら学び、挑戦することができる。
- 相手の立場に敬意を払い、関心を持って他の人の話を聞くことができる。

関心・意欲

- 人と触れ合うことが好きであり、人々の健康と生活を支える専門職を目指す意欲がある。

【入学選抜方法と評価する能力】

一般選抜（前期日程）

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト	◎	○		
個別試験等		◎	◎	◎
面接				

一般選抜（後期日程）

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
大学入学共通テスト	◎	○		
個別試験等		◎	◎	◎
面接				

学校推薦型選抜 I（大学入学共通テストを課さない選抜）

選抜方法	評価する能力			
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	関心・意欲
小論文	◎	○		
面接		◎	◎	◎